NEWS RELEASE

SARD Racing

2025年7月5日




## 2025 SUPER GT 第3戦「SUPER GT MALAYSIA FESTIVAL 2025」(6/26-28)

## セパンインターナショナルサーキット(1周5.542km)

入場者数：予選28,524名、決勝47,453名　合計75,977名

**6月28日（土）、少し陽が傾いた夕刻に12年ぶりのセパン大会に多くの観客がスタンドを埋め尽くす中、SUPER GT第3戦「SUPER GT MALAYSIA FESTIVAL 2025」の決勝が行われ、10番グリッドから一意専心に勝利を狙っていったスタート担当の関口は、オープニングで2台ほどかわして上位を目指していった矢先、ターン2で前をいく1号車と接触。相手がスピンしてしまい、ドライブスルーペナルティに。またグリッドにつく手順に違反があり、2つのペナルティで失意の前半となった。気を取り直し挽回を図る中、19周を終えピットイン。交代したサッシャもチカラの限りの走りを尽くし結果は14位フィニッシュに。ドライバーポイントは得点ならずランキング8位、チームポイントは2点を獲得しランキング7位となった。2レース制の特殊なフォーマットで開催の次戦第4戦は、8月2日（土）・3日（日）に富士スピードウェイにて開催される。**

### ■事前情報



2019年以来の海外戦で2013年以来のマレーシア・セパンでの開催となる第3戦。DENSO KOBELCO SARD GR Supraは、開幕戦3位、第2戦5位で現在シリーズランキング5位につけている。6月26日（木）午後に1回目の公式練習走行、27日（金）午前に2回目の公式練習、午後にノックアウト方式（Q1、Q2）の公式予選、28日（土）決勝は16時30分の夕刻時にスタート。300km（55周：約2時間）で争われ、ドライバー交代を伴うピットストップは1回が義務付け。1人のドライバーの最大運転周回数は36周まで。サクセスウェイトは現獲得ポイントの倍となる34kgを搭載する。重量増によるセパンでのタイムの落ち込みは、34kgだと約0.5秒程度と見込まれ、タイヤの持ち込みセット数は、ドライ6/ウェット8セットで決勝スタートまで使うドライのマーキングは6セットとなる。

灼熱の国マレーシアのセパンサーキットは、クアラルンプール国際空港からクルマで15分ほどの近距離に位置し、コースは比較的フラットでメインとバックの2本のストレートとV字の最終コーナーがあり、それを中高速コーナーでつなぐ、割りとスピードレンジの高いレイアウト。高湿度や酷暑ゆえにドライバー、タイヤ、クルマに厳しく、また局地的なスコールによる降雨の影響も大きい。レース後にはライブイベントが開かれるなど、お祭り的要素も多くあって正にフェスティバルが復活。記録によると、ここセパンでGT500トヨタ陣営が勝ったのは遡ること21年前の2004年の「デンソーサードスープラGT（デュフォア／クート組）」。また前回の2013年セパン大会では脇阪寿一監督が石浦宏明選手と組んで「DENSO KOBELCO SC430」で2位を獲得している。再びトビラが開かれたセパンの地で先陣を切る意気込みで、脇阪寿一監督のもとチーム一丸となって、一意専心にチカラの限りを尽くし勝利を狙っていった。

## ■公式練習走行1、2



26日（木）16時30分から開始された公式練習走行１は、気温35度/路面温度45度とセパンらしい暑さに。最初の60分間の混走セッションではサッシャから走行。路面コンディションからまだグリップ感が薄く、まず持ち込んだ中でソフト側のドライタイヤを装着して確認を11周ほど走行。12周目からは関口がステアリングを握った。セット調整を進めながら混走セッションを終え、15分間のGT500単独セッションでは気温32度/路面温度38度に下がった中で、サッシャが新品のハード側のドライタイヤを装着して予選のアタックシミュレーションを実施。この単独セッションでは6周を走行。結果、公式練習走行1はトータル26周を走行して、ベストタイム1分52秒135の10番手となった。

27日（金）10時30分から開始された公式練習走行２は、気温31度/路面温度36度の快晴。最初の60分間の混走セッションではサッシャから走行。徐々に路面コンディションも整ってハード側とソフト側のタイヤを評価。13周目からは関口がステアリングを握ってソフト側のロングランを実施した。結果、公式練習走行２はトータル29周を走行して、11周目にサッシャがマークしたベストタイム1分52秒008のトップタイムとなった。手応えを感じる中、午後の公式予選に期待が高まる結果となった。

## ■公式予選

### ■Q1：関口が激戦のQ1を8位で突破



27日（金）17時03分から開始されたQ1は気温33度/路面温度40度と昼間よりは下がり始めたが、非常に暑さを感じるコンディションの中、関口は、今回持ち込んだ中でハード側のタイヤを装着。クルマもこの予選のコンディションにマッチするように微調整をした中で、丁寧にタイヤを温めるウォームアップを4周実施し、5周目にアタックを開始。34kgのウェイトを積みながらも上位の区間タイムをマークして元気の良い走りをみせる関口。セクター4では若干前周とほぼ同じ区間タイムと伸びずも、非常に激戦となったQ1でウェイト重めにもかかわらず、1分51秒580の8番手タイムでQ1を突破。見事にQ2進出を果たした。

### ■Q2：サッシャがまさかのマシントラブルでノータイム



27日（金）17時41分から開始されたQ2は気温32度/路面温度38度に。若干路気温が下がり始め、関口と同じハード側を選択したサッシャがコースイン。タイヤのウォームアップを始めた矢先、ターン2を過ぎて加速を始めた時にエキゾーストパイプから白煙と炎が出て、パワーが失われる、まさかのマシントラブルが発生。グリッド上位を狙えるクルマのセットとコンディションに合わせたタイヤで、サッシャ自身もグリッド上位を狙える自信があっただけに悔しいQ2となった。結果ノータイムとなったため、Q2進出車両の中で最後方となる10番グリッドから明日の決勝をスタートすることとなった。

## ■決勝

### ■ウォームアップ走行

メカニック達が様々なリペア作業、セット調整を朝方までかかって仕上げたDENSO KOBELCO SARD GR Supra。28日（土）15時10分から開始された20分間のウォームアップ走行は、気温34度/路面温度44度で決勝日もセパンらしい快晴。最初に関口が確認走行し、マシンや交換したパーツにも問題ないことが確認され、続いてサッシャが2周目から最後まで走行。ウォームアップはトータル9周を走行して、サッシャが8周目にマークした1分55秒694の8番手で決勝への準備を整えた。

### ■決勝レース

**第１スティント：関口が痛恨のペナルティで順位を失う**




28日（土）、14時10分決勝スタート時点は気温33度/路面温度42度と少し路気温が下がり始め、陽が傾いた夕刻に多くの観客がスタンドを埋め尽くす中、10番グリッドから一意専心に勝利を狙っていったスタート担当の関口は、オープニングで2台ほどかわして猛チャージ。更に上位を目指していった矢先、ターン2で前をいく1号車がラインを変えたことで避けきれずに追突する形で接触。相手がスピンしてしまい、後方からの接触という判定によりドライブスルーペナルティに。またグリッドにつく手順で最低速度（80km/h以上）未達のに違反があり、痛恨の2つのペナルティで失意の前半となった。14位となったが気を取り直し挽回を図り19周を終え、サッシャと交代すべく、ピットに関口を呼び戻した。

**第2スティント：サッシャが上位同等のアベレージスピードで周回**

交代したサッシャも順位は最後尾ながらも、１つでも順位を上げることと、次へ向けての貴重なデータ取りのため、アウトラップからフルプッシュ。上位陣と遜色ないアベレージスピードで周回を重ねていく速さを見せた。クルマのバランスは良く、路気温の変化や路面コンディションの変化にもうまく対応したドライビングで貴重なデータを蓄積。チカラの限りの走りを尽くし結果は14位フィニッシュとなった。




ドライバーポイントは得点ならずランキング8位、チームポイントは2点を獲得しランキング7位となった。2レース制の特殊なフォーマットで開催の次戦第4戦は、8月2日（土）・3日（日）に富士スピードウェイにて開催される。

## ■関口　雄飛




「多くの観客、また日本からも応援に駆けつけてくれたスポンサーやファンの皆様のたくさんの御声援をありがとうございました。コンディション変化も大きかったですが走り出しから周回を重ねる度にクルマのポテンシャルは高くなっていきました。決勝では、ターン1-2で順位を上げたところで、1号車を避けきれず当たってしまい結果ペナルティで勝負権を失うことになりました。自分のミスで非常に厳しい結果となってしまいましたが、貴重な新しいデータは取ることができました。次の富士戦は特殊なフォーマットでのレースとなりますが、多くのポイントを得られるように準備をしていきたいと思いますので、引き続きの御声援をよろしくお願い申し上げます」

## ■サッシャ・フェネストラズ




「今回は非常にタフなレースになってしまったね。予選はマシントラブルでアタック出来ず、クルマが進歩していただけに残念だ。決勝で自分のスティントではペース良く走行できていただけに悔しい結果となってしまい、厳しくタフな週末だった。クルマへの理解度も深まってポテンシャルは上がっているので、気を取り直して次の富士に期待して欲しい。富士のスプリントレースは、いつもと違うストラテジーが必要となるけど、非常に楽しみだね。次も一生懸命ガンバリマスので応援ヨロシクオネガイシマス」

## ■監督　脇阪　寿一




「今回も多くの御声援をありがとうございました。走り出しから路面コンディション変化が大きく、持ち込みタイヤの使い方とクルマのセッティングに国内戦以上に悩む状況でした。そんな中、FP2でトップタイムを記録して臨んだ予選、上位にいける手応えはあっただけにQ2でのマシントラブルは非常に残念でした。次の日の決勝へ向けてメカニック達は様々な作業を、朝方まで頑張ってくれました。追い上げを期待した決勝ではのオープニングラップの2コーナーで1号車と接触し、ドライブスルーペナルティ。関係者の皆さんにご迷惑をおかけし申し訳なく思います。ペナルティを消化後は下位ではありますが、クルマに速さもあり、週末を通して、結果とは別で手応えを感じる週末でした。まだチャンピオンシップを狙える位置に居りますので、次の戦いにしっかり照準を合わせます。引き続き、どうぞよろしくお願いします！」

## ■Qualifying Result

| Pos. | No. | Car | Driver | Best Time | SW |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 19 | WedsSport ADVAN GR Supra | 国本 雄資／阪口 晴南 | R 1'49.748 | 0 |
| 2 | 8 | ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8 | 野尻 智紀／松下 信治 | R 1'50.350 | 12 |
| 3 | 64 | Modulo CIVIC TYPE R-GT | 伊沢 拓也／大草 りき | R 1'50.388 | 4 |
| 10 | 39 | DENSO KOBELCO SARD GR Supra | 関口 雄飛／S.フェネストラズ | R 1'51.580 | 34 |

天候：晴れ、コース：ドライ

## ■Race Result

| Pos. | No. | Car | Driver | Time/Diff | Laps |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 37 | Deloitte GR Supra | 笹原 右京／J.アレジ | 1:48'01.698 | 55 |
| 2 | 8 | ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8 | 野尻 智紀／松下 信治 | +19.046 | 55 |
| 3 | 12 | TRS IMPUL with SDG Z | 平峰 一貴／B.バゲット | +23.582 | 55 |
| 14 | 39 | DENSO KOBELCO SARD GR Supra | 関口 雄飛／S.フェネストラズ | +29.628 | 55 |

天候：晴れ、コース：ドライ、5.543km×55Laps

## ■Drivers Ranking

| Pos. | No. | Driver | Total |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 坪井／山下 | 39 |
| 2 | 37 | 笹原／J.アレジ | 30 |
| 3 | 38 | 石浦／大湯 | 24 |
| 8 | 39 | 関口／S.フェネストラズ | 17 |

Point standings after Rd.3

## ■Team Ranking

| Pos. | No. | Team | Total |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | TGR TEAM au TOM'S | 48 |
| 2 | 37 | TGR TEAM Deloitte TOM'S | 39 |
| 3 | 100 | STANLEY TEAM KUNIMITSU | 33 |
| 7 | 39 | TGR TEAM SARD | 26 |

Point standings after Rd.3

## ■Partners

## ■情報参照先

●サード公式ウェブサイト　：https://www.sard.co.jp

X　Facebook　Insta　threads　YouTube

●SUPER GT　：https://supergt.net/jp

■本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本　e-mail: media@sard.co.jp

株式会社 サード
www.sard.co.jp
〒473-0914　愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166　FAX. 0565-52-5482